

## 広島市立美鈴が丘高等学校 令和8年度 学校経営計画

### 学校教育目標

校訓「進取 友愛 節度」のもと、高い志を持ち、変化の激しい社会において自らの未来を切り拓き、「地域共生社会」の担い手となる人材を育成する。

### 目指す学校像（ビジョン）

- ・何事も自分事として捉え、自分の頭で考え、自己決定した上で、責任ある行動を取る力を育成する学校
- ・生徒の基本的な生活習慣の確立及び自己決定力を育成する学校
- ・課題の解決に向け、多様な知識・技能・特性を持つ他者と協同的に取組、違いを認め合い、存在を認め合う人材を育成する学校
- ・地域や社会を学びのフィールドとし、地域の協力を得ながら、保護者や地域からの期待に応える教育活動を展開する学校

◎の項目は重点であることを意味している。

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				努力指標	成果指標
学 力 の 向 上	<p>教科学習と探究学習を2つの柱に据え、知識やスキルの習得だけでなく、様々な「ホンモノ（生きた教材）」を通して自分は何に関心があり、何を深めたいのかという問いに常に向き合い、広い視野で試行錯誤を重ねながら、自分なりの正解や学び方を見つけ、積極的に自己実現を図ろうとする生徒を育成する。</p>	<p>&lt;探究学習の充実&gt; 探究活動によって生徒の変容・成長をより一層促進できるよう、1年「未来計画」2年「グローバル探究」3年「総合的な探究の時間」の相違工夫を重ねる。</p> <p style="text-align: right;">◎ <b>教育研究部</b></p>	<p>①探究の進路・広報への活用 ②全ての活動を探究プロジェクトとして捉え直すリデザイン ③探究専門コース設置とヤマ場の設定 ④探究マイスタークラスによる充実した探究支援 ⑤その他（教科横断型授業、探究メンター登録システム） ⑥既存の探究プログラムの改善と見直しを持った運営 上記6つの主となる施策を実行し、探究活動をさらに充実させる。</p>	<p>4 年度末に各取組を振り返り、6つの取組全てに取り組んだ。</p> <p>3 年度末に各取組を振り返り、5つの取組に取り組んだ。</p> <p>2 年度末に各取組を振り返り、4つの取組に取り組んだ。</p> <p>1 年度末に各取組を振り返り、1～3つの取組に取り組んだ。</p>	<p>4 探究アンケートにおいて、「本校の探究は充実している」という回答が85%以上であった。</p> <p>3 探究アンケートにおいて、「本校の探究は充実している」という回答が70%以上であった。</p> <p>2 探究アンケートにおいて、「本校の探究は充実している」という回答が60%以上であった。</p> <p>1 探究アンケートにおいて、「本校の探究は充実している」という回答が60%未満であった。</p>
		<p>&lt;授業改善の推進&gt; 「主体的・対話的で深い学びを引き出す指導方法」を研究し、授業の質的改善に向けて取組を行う。</p> <p style="text-align: right;">◎ <b>教務部</b></p>	<p>学校へ行く週間を含めた授業観察期間を設けるとともに、教員・生徒アンケートを実施し授業改善に生かす。</p>	<p>4 授業中、生徒が考え主体的に取り組む時間を多く確保したと回答した教員の割合が80%以上であった。</p> <p>3 授業中、生徒が考え主体的に取り組む時間を多く確保したと回答した教員の割合が70%以上であった。</p> <p>2 授業中、生徒が考え主体的に取り組む時間を多く確保したと回答した教員の割合が60%以上であった。</p> <p>1 授業中、生徒が考え主体的に取り組む時間を多く確保したと回答した教員の割合が60%未満であった。</p>	<p>4 生徒アンケートで、授業について肯定的な評価をした生徒の割合が80%以上であった。</p> <p>3 生徒アンケートで、授業について肯定的な評価をした生徒の割合が70%以上であった。</p> <p>2 生徒アンケートで、授業について肯定的な評価をした生徒の割合が60%以上であった。</p> <p>1 生徒アンケートで、授業について肯定的な評価をした生徒の割合が60%未満であった。</p>
		<p>&lt;キャリア教育の充実&gt; 授業と探究学習の連携を模索しながら、全ての生徒がそれぞれの真の志望について考え、第一志望とする進路に最後まで挑戦することができる進路指導を行う。</p> <p style="text-align: right;">◎ <b>進路指導部</b></p>	<p>1年生において、学習習慣を身につけさせる取組を徹底し、自身のキャリアプランについて深く考えた上での文理選択をさせる。</p>	<p>4 模試の事前事後指導や文理選択に伴う学年進路行事を8回以上行った。</p> <p>3 模試の事前事後指導や文理選択に伴う学年進路行事を7回以上行った。</p> <p>2 模試の事前事後指導や文理選択に伴う学年進路行事を6回以上行った。</p> <p>1 模試の事前事後指導や文理選択に伴う学年進路行事を5回以上行った。</p>	<p>4 進路アンケートで、肯定的な回答が90%以上であった。</p> <p>3 進路アンケートで、肯定的な回答が85%以上であった。</p> <p>2 進路アンケートで、肯定的な回答が80%以上であった。</p> <p>1 進路アンケートで、肯定的な回答が80%未満であった。</p>
		<p>2年生において、探究活動や学問研究を通じて自身のキャリアについて考える取組を実施し、揺るがない第1志望を確立させる。</p>	<p>4 探究活動と連携する進路行事を8回以上行った。</p> <p>3 探究活動と連携する進路行事を7回以上行った。</p> <p>2 探究活動と連携する進路行事を6回以上行った。</p> <p>1 探究活動と連携する進路行事を5回以上行った。</p>	<p>4 進路アンケートで、「第1志望が固まった」という回答が90%以上であった。</p> <p>3 進路アンケートで、「第1志望が固まった」という回答が85%以上であった。</p> <p>2 進路アンケートで、「第1志望が固まった」という回答80%以上であった。</p> <p>1 進路アンケートで、「第1志望が固まった」という回答が80%未満であった。</p>	
		<p>3年生において、4月当初の第一志望へ合格することができるように、自身にあった選抜方法を考えさせ、第一志望に出願できるようきめ細かな指導を行う。</p>	<p>4 9月時点で、4月当初の第一志望が変わっていない生徒が60%以上であった。</p> <p>3 9月時点で、4月当初の第一志望が変わっていない生徒が45%以上であった。</p> <p>2 9月時点で、4月当初の第一志望が変わっていない生徒が30%以上であった。</p> <p>1 9月時点で、4月当初の第一志望が変わっていない生徒が30%未満であった。</p>	<p>4 4月当初での第一志望を受験した生徒が60%以上であった。</p> <p>3 4月当初での第一志望を受験した生徒が45%以上であった。</p> <p>2 4月当初での第一志望を受験した生徒が30%以上であった。</p> <p>1 4月当初での第一志望を受験した生徒が30%未満であった。</p>	
		<p>◎&lt;生徒会を中心とした主体的な活動の育成&gt; 文化祭などの学校行事やボランティア活動を通して、地域と連携した生徒の主体的な取組を促す。 【設定理由】地域と連携した学校行事やボランティア活動等を通じ、社会に貢献する取組を行うため、重点とした。</p> <p style="text-align: right;">◎ <b>生徒部</b></p>	<p>学校行事やボランティア活動について情報発信を行い、主体的に地域に貢献しようとする生徒を育てる</p>	<p>4 地域と連携した取組についての情報発信を月に2回以上行った。</p> <p>3 地域と連携した取組についての情報発信を月に1回以上行った。</p> <p>2 地域と連携した取組についての情報発信を3カ月に1回以上行った。</p> <p>1 地域と連携した取組についての情報発信を半年に1回以上行った。</p>	<p>4 ボランティア活動など地域と連携した活動を行った生徒が400人を超えた。</p> <p>3 ボランティア活動など地域と連携した活動を行った生徒が300人を超えた。</p> <p>2 ボランティア活動など地域と連携した活動を行った生徒が200人を超えた。</p> <p>1 ボランティア活動など地域と連携した活動を行った生徒が100人を超えた。</p>
		<p>&lt;校内美化の推進&gt; 校内美化を推進し、学習環境を整える。</p> <p style="text-align: right;">◎ <b>生活環境部</b></p>	<p>毎月1回生徒全員で大掃除を行う。大掃除中に美化委員と教員による安全点検を行う。3月に美化委員による掃除道具点検・交換を実施する。</p>	<p>4 アンケートで主体的に清掃活動を行っていると回答した生徒の割合が80%以上であった。</p> <p>3 アンケートで主体的に清掃活動を行っていると回答した生徒の割合が60%以上であった。</p> <p>2 アンケートで主体的に清掃活動を行っていると回答した生徒の割合が40%以上であった。</p> <p>1 アンケートで主体的に清掃活動を行っていると回答した生徒の割合が40%未満であった。</p>	<p>4 アンケートで清掃が行き届いていると回答した生徒の割合が80%以上であった。</p> <p>3 アンケートで清掃が行き届いていると回答した生徒の割合が60%以上であった。</p> <p>2 アンケートで清掃が行き届いていると回答した生徒の割合が40%以上であった。</p> <p>1 アンケートで清掃が行き届いていると回答した生徒の割合が40%未満であった。</p>
		<p>&lt;いじめの防止・早期発見・適切な対応&gt; いじめの防止、早期発見に努める。いじめに対して、組織的に、迅速にかつ適切に対応を行う。</p> <p style="text-align: right;">◎ <b>生活指導部</b></p>	<p>学年会との連携を密にして日頃から生徒が示す変化やシグナルを見落とさない態勢づくりを行う。教職員全体で情報と取組の姿勢を共有し、いじめの見逃しゼロにつとめる。必要に応じて、関係機関・専門機関と連携する。</p>	<p>4 学年会や関係委員会などで各学年、年60回以上、生徒の情報交換の場を持った。</p> <p>3 学年会や関係委員会などで各学年、年40回以上、生徒の情報交換の場を持った。</p> <p>2 学年会や関係委員会などで各学年、年20回以上、生徒の情報交換の場を持った。</p> <p>1 学年会や関係委員会などで各学年、生徒の情報交換の場を持った回数が20回未満であった。</p>	<p>4 関係機関・専門機関と連携して対応したいじめに関する事案数が年間3件未満であった。</p> <p>3 関係機関・専門機関と連携して対応したいじめに関する事案数が年間3件以上であった。</p> <p>2 関係機関・専門機関と連携して対応したいじめに関する事案数が年間6件以上であった。</p> <p>1 関係機関・専門機関と連携して対応したいじめに関する事案数が年間9件以上であった。</p>
		<p>&lt;中学生・中学校への広報活動の充実&gt; 学校紹介やホームページの充実等により、保護者や地域及び中学生に本校の魅力を発信する。</p> <p style="text-align: right;">◎ <b>メディア情報部</b></p>	<p>学校ホームページと公式Instagramを役割分担型で一体的に運用し、生徒広報プロジェクトチームと連携しながら、生徒の学びや教育活動の様子を継続的に発信することで、中学生・保護者・地域に本校の魅力をわかりやすく伝える。</p>	<p>4 ホームページまたは公式Instagramにおいて、新規の記事・投稿を60件以上行った。</p> <p>3 ホームページまたは公式Instagramにおいて、新規の記事・投稿を45件以上行った。</p> <p>2 ホームページまたは公式Instagramにおいて、新規の記事・投稿を30件以上行った。</p> <p>1 ホームページまたは公式Instagramにおいて、新規の記事・投稿が30件未満であった。</p>	<p>4 ホームページおよび公式Instagramの年間アクセス数が、前年度と比較して20%以上増加した。</p> <p>3 ホームページおよび公式Instagramの年間アクセス数が、前年度と比較して15%増加した。</p> <p>2 ホームページおよび公式Instagramの年間アクセス数が、前年度と比較して5%増加した。</p> <p>1 ホームページおよび公式Instagramの年間アクセス数が、前年度と比較して増加率が5%未満であった。</p>
		<p>&lt;設立40周年記念行事に向けての準備&gt; 2年後の創立40周年に向けて、記念行事の準備を行う。</p> <p style="text-align: right;">◎ <b>総務部</b></p>	<p>設立30周年記念行事を参考に、創立40周年に向け実行委員会を立ち上げ、記念誌や記念行事の計画や内容を立案する。</p>	<p>4 校内準備委員会を4回開催した。</p> <p>3 校内準備委員会を3回開催した。</p> <p>2 校内準備委員会を2回開催した。</p> <p>1 校内準備委員会を立ちあげた。</p>	<p>4 記念誌や記念行事の内容の80%以上を立案して次年度へ引き継いだ。</p> <p>3 記念誌や記念行事の内容の60%以上を立案して次年度へ引き継いだ。</p> <p>2 記念誌や記念行事の内容の40%以上を立案して次年度へ引き継いだ。</p> <p>1 記念誌や記念行事の内容の40%未満を立案して次年度へ引き継いだ。</p>
<p>◎&lt;働き方改革の推進&gt; グローバル探究科の充実や部活動指導の負担など、様々な業務が必要となる中で、業務改善を進め、全教職員の年間平均の勤務時間外在校時間を45時間以下にする。 【設定理由】業務改善等を行い、働き方改革を推進することは喫緊の課題であるため重点とした。</p> <p style="text-align: right;">◎ <b>管理職</b></p>	<p>各自で定時退校日を設定し、確実に実施することで、毎日の勤務時間についても意識を高め、勤務時間外在校時間の削減につなげる。</p>	<p>4 定時退校日の実施率80%以上であった。</p> <p>3 定時退校日の実施率60%以上であった。</p> <p>2 定時退校日の実施率40%以上であった。</p> <p>1 定時退校日の実施率40%未満であった。</p>	<p>4 年間月平均の勤務時間外在校時間45時間以下の割合が80%以上であった。</p> <p>3 年間月平均の勤務時間外在校時間45時間以下の割合が60%以上であった。</p> <p>2 年間月平均の勤務時間外在校時間45時間以下の割合が40%以上であった。</p> <p>1 年間月平均の勤務時間外在校時間45時間以下の割合が40%未満であった。</p>		